

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

腹膜透析学習会



2024年の5月から沖縄協同病院で腹膜透析外来が始まり、現在10名の腹膜透析の患者様がいます。外来を開始して一年がたち、先日報告会をさせて頂きました。腹膜透析は残存の腎機能を維持しながら自宅で治療ができ、外来の通院回数が少ないというメリットがあります。報告会では、約60名のコメディカルの参加があり、外来・病棟・医師の3部門から現状と今後の展望についての報告がありました。また、実際の在宅で使用する機械を用い説明する中で多くの質問もあり、とても有意義な時間となりました。透析担当医師からの話で以前、当院でも腹膜透析を行っていたことがあると聞き驚きました。その時の患者様が現在もとよみ生協病院に通院しており、10年以上腹膜透析を続けていらっしやると聞きすごく励みになりました。血液透析に比べ認知度の低い腹膜透析ですが、たくさんのメリットもありますので、これを機会に興味を持って頂けたら嬉しいです。

1階外来 看護部 金城 久美子

外科外来体制表

	月	火	水	木	金	土
午前	比嘉 聡 有銘一朗	永田仁 (1・3・5)	永田 仁 小野 武	平田 勇一郎	比嘉 聡	休 診
午後		有銘一朗	小野 武	有銘一朗	加藤航司	

《診療開始時間・受付終了時間》 午前：9:00～12:00 午後：2:00～4:00
※予約制

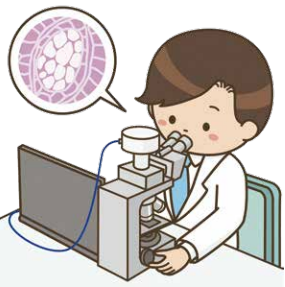
病院の活動状況 <2025年7月度>

- ・外来一日平均患者数：242人（前年同月比 -104人）
- ・入院一日平均患者数：261人（前年同月比 -16人）
- ・組合員利用分量(率)：61.4%（前年同月比 +6.9%）



病理解剖について

223 病理診断科より



病理解剖は医療従事者の生涯教育に役立ち、ひいては当院の医療の質の向上につながる大切な検査です。どうぞ病理解剖についてご理解よろしく願います。
病理診断科 樋口 佳代子

患者さんが病院に来院されると適切な治療のために適切な診断が必要になります。そこで患者さんの体から採取された病変の組織や細胞からガラス標本をつくり顕微鏡で観察して癌などを診断するのが病理診断科医師の病理医です。病理医がおこなう病理診断には以下のようなものがあります。

- ・細胞診断（子宮頸癌検診や喀痰などの癌細胞を調べる検査）
- ・生検組織診断（胃生検や乳腺針生検など臓器の一部を採取して行う検査）
- ・手術で摘出された臓器・組織の診断
- ・手術中の迅速診断（癌の切除断端に癌がないかなどを手術中に確認する検査）
- ・病理解剖（剖検ともいいます）

今回は病理解剖についてご説明したいと思います。医学の進歩によってさまざまな疾患に対して新しい診断法や治療法が開発されていますが、現在においてもすべての患者さんの命を救うことはできません。医療従事者が最善を尽くしたにもかかわらず不幸にして患者さんがおなくなりになった際、主治医がご遺族に病理解剖をお願いすることがあります。

病理解剖においては、病理医が胸部（肺、心臓）、腹部（胃腸、肝臓、腎臓などの腹部臓器）や時には頭部（脳）から臓器を取り出し、肉眼で観察した後、一部をガラス標本にして顕微鏡で調べて「剖検病理診断」をします。

その後病理医は患者さんの診療にかかわった主治医や他の医療従事者と臨床病理検討会（Clinico-Pathological Conference-CPC）を行います。CPCは「剖検病理診断」と患者さんの生前の診断や治療を詳細に比較検討することにより生前の医療の妥当性を検証します。みずからがこなった医療をふりかえることでわれわれは医療従事者として成長し、次に出会う患者さんによりよい医療を提供できるようになるのです。

キッチンカー

今年4月から月に1度、沖縄協同病院にキッチンカーを招くイベントを始めました。きっかけは、「この病院には少しキラキラ感が足りないかも?」と感じたこと。そこで、テンションが上がるような取り組みとして、まずはクレープのキッチンカーを呼んでみました。すると予想以上に好評で、ハンバーガー、カレー、コーヒーなど、バリエーションも増えていきました。スタッフからは「また来てほしい!」という声も多く、確かな手応えを感じています。「伊志嶺さんは、キッチンカー協会の人?」と尋ねられることもあります。そうではなく、Instagramや口コミで「これは美味しそう!」と思ったお店に直接連絡しています。個人的にはCafe JIJIさんのコーヒーが印象的でした。忙しい時に飲む美味しいコーヒーは最高!と感じたからです。8月はお休みですが、9月からまた再開します。次はどんなキッチンカーが来るのか、お楽しみに!

4階病棟北 師長 伊志嶺 牧子

職場づくり研修

7/12(土)院内教育委員会主催の職場づくり研修でキャリアカウンセラーの大嶺本子先生の「コミュニケーション」にまつわる講義を受講しました。「患者様だけでなく、職員の皆さんとも上手くコミュニケーションがとれるようちょっとしたコツを学びましょう」を研修テーマとし、各部署から総勢23名の参加で学びを深める機会となりました。

コミュニケーションをとると言っても人は前段階の視覚情報(表情・身だしなみ・態度など)から半分以上の情報をキャッチしており、話し方なども大切ではあるが、聴く姿勢(態度)が大切ということも改めて学びました。また、グループに分かれてのロールプレイでは、より具体的なシチュエーションが想像でき実例として落とし込みやすく学べました。

私自身は「間違いやすい日本語」や「丁寧な言葉遣いへの変換」などは日常的に患者様や上司、同僚と話をするうえでも大切だなと実感し難しさと共に重要性を再認識した講義内容となりました。

今回、こういった学びの機会を設けていただき、有意義な時間を過ごすことが出来、院内教育委員会には感謝です。

栄養管理室 室長 知念 清太

こんにちは赤ちゃん

当院で出生したBabyの写真です



伊敷星都ちゃん



富村美海ちゃん

Instagramやってます

@okikyo.sanka



私の部署のいいところ

院内には多くの医療機器があります。点滴で使用する輸液ポンプ、心電図や生体モニタ、呼吸の補助をする人工呼吸器、他にも人工心肺や血液透析、手術室、ペースメーカーチェック、心臓カテーテル検査・治療などの分野で使用するME機器を臨床工学技士が担当しています。メディアでも多く紹介されたECMO(エクモ)装置にも関わっています。医療機器が何時でも安心して使用していけるよう、いのちのエンジニアとして医療に貢献していきたいと思っています。

臨床工学室 室長 藤村 秀一郎

臨床工学室



委員会活動報告 40! 看護手順委員会

看護手順委員会は、入院部門・外来部門の計11部署で人選された看護師で構成され、会議を月に1回開催しています。看護手順書とは、看護師が患者様に対して行う特定の看護行為について具体的な手順や注意点をまとめた文書で、例えば、食事の援助や注射・点滴の方法など当院では約90項目の看護行為に対する手順書を作成しています。

看護手順委員会では、看護手順の適宜見直しや修正、新たな技術には追加で手順書を作成し、沖縄協同病院看護部の理念にある、患者様が安全で安心できる看護を提供できるよう努めています。

看護手順委員会事務局長(手術室師長) 上原 さゆり

ハルサーだより

コーヒーノキ



3年間鉢植えにしていたコーヒーノキを2年前に地植えにした。弱酸性土壌を好む木なので南部のジャガール(弱アルカリ性土壌)での実は期待していなかった。7月に白い花が咲いたが実は無理だろうとあきらめていた。しかし、8月中旬になると不揃いではあるが焙煎できそうな実が枝もたわわに実った。花から実が熟するまでには9カ月かかるようなので気長に待つしかない。最近では北部でもコーヒーノキが栽培されている。沖縄はコーヒーベルトの北限。中北部は弱酸性土壌で斜面が多いのでコーヒー栽培には最適だ。コーヒーは世界で2番目(1位は原油)に多く取引されていて日本の輸入量は世界第3位だという。コーヒー生産国のベトナム等のコーヒー畑が中国の需要でドリアン畑に変わって価格が高騰している今、県産コーヒーへの期待は大きい。

「コーヒー」の雑学を検索してみるといっぱい出てくる。「コーヒーを発見したのはヤギが赤い実を食べて興奮しているのを見て人間も眠気覚ましに使用した」「インスタントコーヒーとアイスコーヒーの発明者は日本人」「猫の糞から取るコーヒー豆は高級品」「モカは港町の名前」「コーヒーの受皿はコーヒーを入れて冷まし受皿からそのまま飲むためのものだった」等…。因みに「コーヒーノキ」は正式名称で「コーヒーの木」は俗称。

かつてアメリカはイギリスの支配下にあったので紅茶文化が浸透しているのではと思うが実際は珈琲文化だ。その理由の一つは当時のイギリスの大企業が紅茶貿易を独占し、さらに重い関税をかけて値を高騰させたため人々が怒って紅茶の船を襲撃して紅茶文化はすたれたという。現在はアメリカがかけた重い関税が世界中を混乱に陥れているが歴史は繰り返されるのか…。

ハルサー 金城 稲子